

nissei printing corp.

2023年活動レポート

2023年1月～12月

2024年3月発行

 日生印刷株式会社

8. 組織図



役職	責任と権限
最高責任者	1. 環境経営システムに関する統括責任 2. 環境方針の制定及び従業員への周知 3. 環境経営システムの実施及び管理に必要な経営資源の配分 4. 環境管理責任者の任命 5. 環境経営システムの取組状況の評価、見直し並びに指示 6. 事故及び緊急事態発生時の利害関係者への情報公開指示 7. 環境目標設定の承認 8. 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	1. 環境関連法規及びその他の要求事項の特定、遵守状況の評価 2. 全社目標の設定 3. 緊急事態の特定、対応手順の策定 4. 教育・訓練の計画、実施 5. 苦情・要望の受付、対応 6. 運用状況のチェック・結果のフォロー 7. 最高責任者に対し、環境経営システムの実績報告 8. 環境活動レポートの作成 9. 環境関連文書(手順、記録)の作成、最新版保管 10. 活動実績データ収集、集計その他要求事項の収集、整理
エコアクション21会議	1. 環境管理委員への周知、教育の場
環境管理委員	1. 管理上の重要事項の審議・決定 2. 環境経営システムの部門実施事項責任者 3. 部門目標、実施計画の設定と達成状況管理 4. 部門員への環境保全教育及び活動の指示徹底
全従業員	1. 環境活動への積極的参加

9. 認証・登録の対象範囲

認証・登録番号：0002723

認証・登録年月日：2008年7月29日

認証・登録時業者名：日生印刷株式会社

対象事業所名：本社/さいたま工場

所在地：【本社】東京都新宿区高田馬場1-25-34

【さいたま工場】 埼玉県入間郡三芳町竹間沢322-2

事業活動内容：シール、ラベル、ステッカーの製造・販売

各種フィルム、粘着シート、両面テープの精密複合加工の企画
・製造・販売

基本理念

当社は、かけがえのない地球環境を健全な状態に維持し、次世代に引き継いでゆく事を基本理念とし、その実現に向けて事業活動のなかで環境保全に配慮して行動することを経営の重要課題のひとつととらえ、次の方針を定めます。

環境方針

環境マネジメントシステムを積極的に活用、維持することにより、循環型社会の形成の一翼を担うことで、地球環境に貢献することを基本方針とします。
当社の事業活動を通じ、自然の環境保全を重要課題とし、全ての事業活動を通じて取り組みます。

環境保全への行動指針

1. 環境に配慮した事業活動の推進

環境に配慮した事業活動、製品、サービスを行い、環境負荷低減に貢献します。

2. 省エネ・省資源の推進

業務のシステムを効率化することにより、電力使用量の節減、材料使用量の削減などの省エネ、省資源に取り組みます。

3. 廃棄物の削減とリサイクルの推進

事業活動の過程で発生する廃棄物の削減と適切な処理により、汚染の予防に努めるとともに、リサイクルを推進し資源の有効利用を図ります。

4. 継続的な改善

環境への影響が著しいものを中心に、環境目的・環境目標を設定、環境経営システムを運営し定期的に見直す事により、継続的な改善を図ります。

5. 法規制の遵守

事業活動の推進に当っては、環境に関する法規制やその他の要求事項を遵守し環境保全に努めます。

6. 啓発活動

社員に対して環境に関する啓発活動を行い、意識の向上を図ることにより、社員一人ひとりが主体的、自立的に環境活動を実践します。

この環境方針を全社員に周知し、公表します。

2019年7月21日改訂
日生印刷株式会社
代表取締役社長 今村めぐみ

Ⅲ 環境活動計画

■ 電力の削減

- ・ 不使用な場所の電気の消灯を心がける
- ・ エアコンの電源を時間差で入れる（朝：7時8時の1時間おき）
- ・ エアコンフィルターの清掃（年3回/5月・8月・12月）
- ・ 電力会社変更の検討
- ・ エアコンにプロペラを設置する
- ・ エアコン入電時の強さの段階上げ設定の検討

■ 温室効果ガス排出量の削減

- ・ 不使用な場所の生産機・エアコンなどの電源OFF
- ・ アイドリングストップの徹底
- ・ 車の点検
- ・ 製造機械等の点検（奇数月/3月・5月・7月・11月）
- ・ 倉庫のカーテン増量の見積中
- ・ 倉庫の夜間時の温度設定の検討

■ 廃棄物の削減

- ・ 不良の削減 ・ 在庫材料（不動在庫）の返却
- ・ コピー用紙の裏紙の再利用
- ・ ダンボール、廃インキの回収回数の削減（回収費用の値上がり）
- ・ 部署ごとの廃棄物の重量の把握 ・ 調子出し用のブリキ等の再利用
- ・ 紙管の再利用 ・ 材料が入っていた袋の再利用＝ゴミ袋の節約
- ・ 営業用材料サンプルの共有（無駄に手配しない）

■ 歩留の向上

歩留の向上目標説明

- ・ 不良の削減→ツギ`不可の原反材料にツギ`がある場合複数Rに分ける
対応ができる用、お客様に打診してもらう
↑↓ツギ`不可製品のリストアップ
- ・ 良品を作りすぎない→予備枚数の明確化
- ・ 製品在庫の把握の徹底（業務・生産管理・仕上、作業仕様書等に記載）

■ 化学物質使用量の削減

- ・ 原材料及び副資材は含有調査を実施
- ・ 使用量の把握
- ・ 適正な使用に努める

■ 水道使用量の削減

- ・ トイレ、洗面所の節水呼びかけの継続

■ その他

- ・ 記録 倉庫の温度管理表
- ・ 清掃 全従業員による工場内外の5S
- ・ 薬品 用途不明品薬品の廃棄と薬品管理の強化
薬品保管場所の徹底
化学物質使用量の削減
- ・ グリーン購入 植林木パルプ使用品（ECF漂白用紙）を購入
エコマーク付きの文房具の購入促進

Ⅳ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

2023年01月～12月までの目標と実績についての計画と評価（2018年1月～2018年12月対比）

取組項目	目標	実績	※評価 ★次年度の方向			
電力の削減 電力使用量	220,964 kWh	220,628 kWh	目標達成 100%	※昼休みの消灯、機械電源オフは常時行える ※機械電源を時間差で入れている ※7月に事務所と食堂にエアコンにプロペラを設置したが、効果は要観察 ※8月にエアコン1台（事務所）新しいものに取り換えた		
温室効果ガス (CO ₂) 排出量の削減 排出量	118,035 kg-CO ₂	141,523 kg-CO ₂	目標未達成 83%	※電力削減、化石燃料削減についてさらに取組を続けられている ※事務、製造共にエネルギーのムダの検証と省エネの取組を継続できている ※9月に倉庫のカーテンの増設をした ★倉庫の夜間時の温度設定の検討		
廃棄物の削減 排出量	56,406 kg	51,421 kg	目標達成 110%	※5Sの継続ができています ※在庫材料（不動在庫）の返却 ※製品の作り直しが減った ※製品の作り直しによるロス時間が減った ★5Sを更に取り組む ★不良品を作らない ★良品を作り過ぎない		
歩留の向上 歩留率	31.8 %	33.3 %	目標達成 105%	※材料の使いすぎをより管理した ※お客様の製品設計により歩留が変化する ★不良品を作らない。良品を作り過ぎない。 ★各種改善活動の推進		
化学物質 使用量の削減 購入量	583.3 リットル	377.8 リットル	目標達成 154%	※生産量により使用量は変化するが、段替えが多ければ清掃頻度も上がるため使用量は増加する傾向にある ※機械に影響のない製品を数社検討していたが現状の溶剤のが良いと結果がでた ★5Sに努めつつ、適正な使用量に留意する		
水道使用量の削減 水道使用量	※生産活動に直接関わらないため、2020年度より実績の数値の把握にとどめる					
	<基準数値> 330m ³	<実績> 2021年 315m ³	2022年 317m ³	2023年 307m ³		
グリーン購入 の促進 購入比率	※生産活動に直接関わらないため、2020年度より実績の数値の把握にとどめる					
総合	<p>本年度も喜ばしいことではあるが、仕事量が増加したため目標未達成がある。 2021年度同様、電力の削減は目標まであと一歩及ばず。 温室効果ガス(CO₂)排出量の削減については倉庫の温度設定の適切な見直しはできたが、電力会社を変更するなど他のことも検討する必要がある。 他の項目については、目標が達成できたのでよしとし、更に各種改善活動を推進していきたい。</p>					

1. 環境目標の中期年度目標

項目 \ 年度			2018年	2023年		2024年		2025年	
			18.01-18.12 基準年実績	23.01-23.12 目標(2018年基準)		24.01-24.12 目標(2018年基準)		25.01-25.12 目標(2018年基準)	
電力の削減	電力使用量	kWh/年	222,746	▲0.8%	220,964	▲0.9%	220,741	▲1.0%	220,519
温室効果 ガス排出量 の削減	排出量	kg-CO ₂ /年	118,390	▲0.3%	118,035	▲0.4%	117,916	▲0.5%	117,798
廃棄物 の削減	排出量	kg/年	57,265	▲1.5%	56,406	▲1.8%	56,234	▲2.1%	56,062
歩留 の向上	歩留率	%	31.1	2.3%	31.8	2.6%	31.9	2.9%	32.0
化学物質 使用量 の削減	購入量	リットル	589.2	▲1.0%	583.3	▲1.1%	582.7	▲1.2%	582.1

※購入電力排出係数は0.632(kg-CO₂/kWh)を採用

※基準値を2015年から2018年に変更。それに伴い、増減目標値の訂正

※2020年度より実績の数値の把握にとどめるため、水道使用量の削減・グリーン購入の促進の欄を削除

V

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

法規名	該当する項目
悪臭防止法	・人の嗅覚による臭気測定方式 ※敷地周辺に臭いはありません
騒音規制法	・工業地域、規則値70dB、境界線上で65dB
振動規制法	・工業地域、規則値65dB、境界線上で振動なし
廃棄物処理法	・産業廃棄物の排出 ・産業廃棄物処理業者との契約 ・マニフェスト管理、集計、報告 ・廃プラ、廃インキ等
自動車リサイクル法	・社用車1台保有 ・リサイクル費用支払い
家電リサイクル法	・特定家電製品（テレビ、冷蔵庫、エアコン）・廃棄なし
労働安全衛生法	・有機溶剤 ・常時雇用50人以上の事業所 安全管理者 ※日生印刷は50人以下
消防法	・常時雇用50人以上の事業所 防火管理者 ※日生印刷は50人以下
顧客要求	・グリーン調達 ・ROHS指令遵守指示
埼玉県生活環境保全条例	・アイドリングストップ
フロン排出抑制法	・エアコンの簡易点検

注) PRTR法は該当しません

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。又、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

外部からの苦情等の受付結果

- ・2023年1月1日から2023年12月31日までにおける外部からの苦情はありませんでした。

VI 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・5つの取組目標のうち4つについて目標を達成することが出来た。売り上げがやや減少したことが関係あると言えなくもないが、やはり個々人の意識向上、必要設備の増設など改めて出来ることをコツコツと進めた結果であるように思う。しかしながら排出係数はどうすることも出来ず、温室効果ガス排出量削減の目標達成には至らなかった。
- ・次年度からは、各部署から新たなメンバーを追加し5S内部チェックを行う予定である。
- ・ようやく大勢で一堂に会することが可能となり、4年振りに消防署立ち合いのもと避難・消火・通報訓練を実施した。消防署員の指導より、避難の重要性和同時に初期消火の重要性も全員で共有することが出来た。

VII 今年のトピックス

- 2023年7月に事務所と食堂にエアコンにプロペラを2台ずつ設置、効果は要観察。



- 2023年11月9日に本年度の回収したキャップを「キャップの貯金箱推進ネットワーク」に寄付。

キャップ実績レポート

日生印刷株式会社様

このたびは「キャップの貯金箱推進ネットワーク」の活動にご協力頂きましてありがとうございます。皆様の温かいお心に感謝申し上げます。

■今回のご提供キャップ（2023/11/09分）（回収分）

重量	個数（概算）	預かり寄付金
12.04 Kg	5,177 個	120 円

ワクチン種類	一人分の価格	合計
ポリオ（小児麻痺）	約 20 円	約 6 人分

- 2023年12月8日、消防訓練を実施。けが人を台車に乗せた運搬避難も合わせて実施。



• 消防署の指導による通報訓練



• 消防署の指導による消火訓練（水消火器）

